

# News Letter

ニュースレター



2026年3月30日



## 温室効果ガス排出量可視化プラットフォーム「C-Turtle®」の無償提供開始について ～投融資先の脱炭素経営をサポート～

名古屋銀行（頭取 藤原 一朝）は、株式会社NTTデータ（代表取締役社長 鈴木 正範、以下「NTTデータ」）と協業し、当行の投融資先に対し温室効果ガス（以下「GHG」）排出量可視化プラットフォーム「C-Turtle®」の無償提供を開始いたしますのでお知らせします。併せて、当行は投融資先に係るGHG排出量を可視化できる「C-Turtle® FE」を導入いたします。

なお、「C-Turtle®」の無償提供および「C-Turtle® FE」の導入は、愛知県内に本店を置く金融機関で初の取り組みとなります。

当行は今後も、投融資先の脱炭素に向けた取り組みのサポートを通じて、持続可能な地域社会の発展に貢献してまいります。

### 記

1. 取扱開始日 2026年4月1日

### 2. 背景・目的

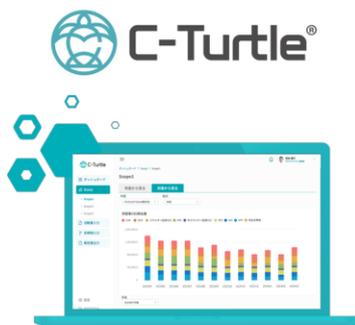
気候変動への対応は国際社会において重要な課題の一つであり、企業には自社のGHG排出量（Scope1・2）に加え、サプライチェーン全体を含むScope3のGHG排出量の把握と削減が求められています。また、金融機関においては、投融資先を含むファイナンスド・エミッションの算定・開示の重要性が高まっています。

当行は、投融資先との連携を通じてサプライチェーン全体のGHG排出量削減を推進するため、株式会社NTTデータと協業し「C-Turtle®」の無償提供を開始します。併せて、当行のGHG排出量算定の高度化を図るため、「C-Turtle® FE」を導入いたします。

### 3. 「C-Turtle®」概要

- ▶ NTTデータが開発した削減可能なScope3を算定するGHG排出量可視化プラットフォーム
- ▶ Scope3の算定に、サプライヤーの排出量（一次データ）を活用し、サプライヤーの削減努力を自社排出量に取り込むことができる「総排出量配分方式」を採用
- ▶ サプライチェーンを通じたGHG排出量の算定・削減の推進が可能

#### 「総排出量配分方式」対応、GHG排出量算定プラットフォーム



#### Point 1 GHGプロトコル全Scope対応

IFRSS2、GHGプロトコルに基づいた算定が可能、複雑なScope3算出に利用可能。複雑を極めたエクセル計算から脱却し属人性を排除します

#### Point 2 削減努力が反映されるScope3算定

環境省が推奨する排出原単位の一次データを大企業から小規模企業まで幅広く保有し、削減できるScope3算定を実現します

#### Point 3 グローバルのGHG排出量情報を保有

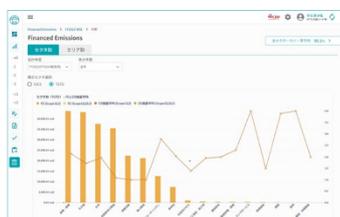
英国NGOであるCDPのグローバルデータも利用可能、CDPデータの使用許諾契約を持つのはグローバルでもNTTデータのみです

図1：「C-Turtle®」概要

#### 4. 「C-Turtle® FE」概要

- 「C-Turtle®」の金融機関向けサービス
- PCAFスタンダード（国際基準）に準拠したファイナンスド・エミッションの可視化・削減を支援
- 投融资先の一次データを活用して算定が可能
- 投融资先のGHG排出量削減努力を反映した、データクオリティの高い算定を実現

#### PCAFスタンダード対応、金融機関様向けGHG排出量算定プラットフォーム



##### Point 1 PCAFに準拠したFE算定

国際基準「PCAFスタンダード」に基づいた算定が可能、セクター別、投融资先別の排出量を可視化します

##### Point 2 幅広い企業のGHG排出量情報を保有

大企業から小規模企業まで幅広く企業のGHG排出量情報（一次データ）を保有しており、データクオリティの高い算定が可能です

##### Point 3 取引先とのエンゲージメント促進

取引先のGHG排出量情報を金融機関様へ連携し、情報収集の効率化/取引先管理にも活用できます

図2：「C-Turtle® FE」概要

※「C-Turtle®」は日本国内における株式会社N T Tデータの商標です。

#### <参考>

株式会社N T Tデータのニュースリリース

「東海経済圏のカーボンニュートラル実現をめざし名古屋銀行と協業開始

～GHG 排出量可視化プラットフォーム「C-Turtle® FE」を活用し、ファイナンスド・エミッションの算定を高度化～」

URL：<https://www.nttdata.com/global/ja/news/topics/2026/033002/>

以 上